

女性のつながりサポート事業【北区】

個別事業費	6,919 千円
交付金額	3,235 千円

地域の実情と課題

新型コロナウイルス感染拡大やコロナ禍等の社会情勢の影響による、配偶者等からの暴力(DV)の増加・深刻化、女性の貧困、無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)による弊害といった課題に対し、必要な支援が行き届いていない。

事業の特徴

就学・就労、子育て、介護・看護等により既存の相談事業を利用することが難しかった女性を含め、あらゆる状況の女性たちに対応することができるよう、LINEを用いた相談窓口を開設し、相談を受け付けた。また、LINE相談等でつながった相談者に対し、必要や希望に応じてアウトリーチによる支援体制を構築した。

- ### 事業の効果
- LINE相談件数年間 266件(目標250件に対する達成率106%)
 - LINE相談件数については、目標値を達成。
 - 広報手法を多様化した年度後半以降に新規相談が増加した。LINE相談と対面相談の両方を併用している相談者もあり、夜間の心の拠り所として活用されている状況もうかがえた。
 - アウトリーチ件数は0件であったが継続も多くLINE相談で終了する案件がほとんどであった。引き続きLINE相談実施日についてはいつでもアウトリーチ支援を行うことができる体制を維持する。

目的・目標

女性が自らの生き方を自分で選択することのできる地域社会の実現に向け、就労・就学・暮らし等の女性の悩み全般に対応できる相談体制と、個々の悩みに対する個別的支援を継続的に実施できる体制を構築する。そのための取り組みの一つとして、女性のためのLINE相談および必要に応じてアウトリーチ型支援を実施する。

<目標>
LINE相談件数 年間250件、アウトリーチ支援0件

連携団体

東京都北区女性活躍推進協議会
NPO法人
北区社会福祉協議会
区内教育機関・北区教育委員会
北区子ども家庭支援センター
北区生活福祉課 等

- ### 今後の課題
- 様々な悩みを持つ相談者からの相談に文字のみで対応するためには、高いスキルを要する。相談員間や区事務局との情報連携を密に行い、高いサービスを提供できるよう努める。
 - 相談者のニーズを汲み取り、相談者に対し適切なタイミングでアウトリーチ支援を提案し、実施に繋げるために、研修やケース検討会の実施などにより相談員のスキルアップを図る。
 - LINE相談利用者や、相談を検討している女性に対し、アウトリーチ支援を行うことが可能である旨を周知していく必要がある。

事業の概要

女性のつながりサポート事業

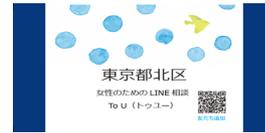


新型コロナウイルス感染拡大やコロナ禍等の社会情勢の影響を受け、孤独や孤立による不安、就労・就学・暮らしに対する困難等を抱える女性を対象としたLINEを用いた相談窓口を開設することにより、SNS上に女性のための居場所を提供するとともに、適切な機関や相談窓口、アウトリーチ支援に接続する体制を構築した。平日・週末の夜間に実施することで、これまで女性相談に繋がっていなかった若年女性からの相談が多く寄せられた。また、隙間時間を活用した学生や育児中の女性からの相談も多く寄せられた。LINE相談者のうち、さらなる支援が必要であると判断した相談者に対し、アウトリーチ支援を実施する体制を構築したが、令和6年度の実施件数は0件であった。

相談実績

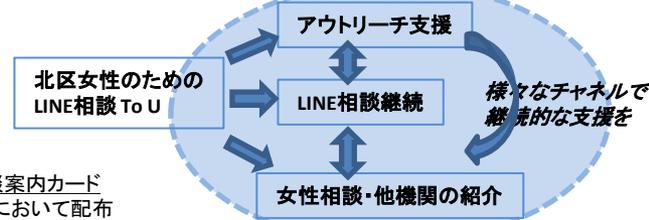
- LINE相談友達登録者数 578名
- LINE相談件数 266件

相談案内ステッカー
区関連施設や商業施設の区内トイレ個室に設置



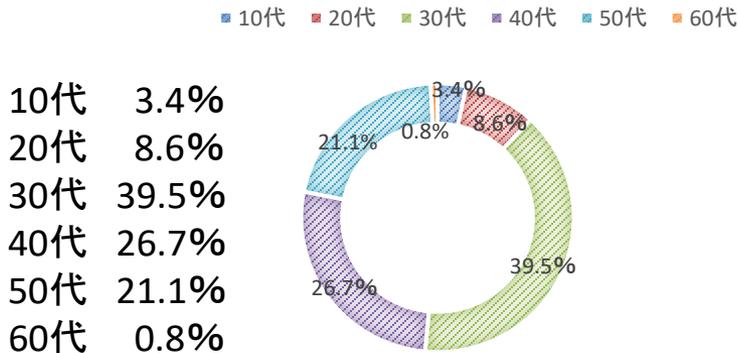
相談案内カード
区内中学校・高等学校・区関連施設等において配布

受託団体・区・警察等で連携



福祉事務所・子ども家庭支援センター・社会福祉協議会など

相談者の年齢構成



相談件数(月別)

